

スクッピーだより

平成27年
初冬号

【調布市子ども発達センターニュース】

〒182-0032 調布市西町290-49

TEL/042-486-1190

E-mail/ ayumi@w2.city.chofu.tokyo.jp

寒さが身に染みる季節となりました。感染力の強い疾患が流行する時期でもあり、十分な対策をしておきたいですね。

さて、発達センターでは、毎年秋に行っているセンターまつりを、今年は時間を変更して行いました。今号では、センターまつりのご報告と、入園や入学に向けてお知らせしておきたい「i-ファイル」「就学支援シート」などについてご紹介します。

平成27年度

センターまつり ご報告

10月24日(土) 午前11時~午後2時

昨年度までは午後1時からの開催でしたが、今年度はお昼をはさみ、販売されたパンやパウンドケーキなどを食べながらおしゃべりできるお部屋もご用意しました。

販売やイベント、ボランティアの方々、ご協力ありがとうございました。

<ホールイベント>

駒沢女子短期大学児童文化部
パネルシアター、ヘビダンス他
ちょうふだぞう
よさこい、ようかい体操
リトルステップス(おやじバンド
演奏)
子どもたちも一緒に歌ったり、
踊ったり、楽しんでいました

<ゲームコーナー>

ボールすくい
いろんな道具を使って
すくいました。
的あて
的にあたるかドキドキ
しました。

ボーリング
どんな景品があたるか
楽しみでした。



<わくわくタイム>

普段、センターで行っている
お集まりを紹介しました。

<リユースコーナー>

スクッピー友の会に
よる、子ども用品
交換会です。



<ブロックコーナー>

たくさんのブロックを積んだり、
繋げたりして遊びました。



<スヌーズレン>

静かな音楽を聴き
ながら、光や柔ら
かい感触の中、
リラックスする
お部屋です。

<販売>



パン

☆NPO 法人調布心身障害児・者親の会
「ぴいす」



革製品, 飲み物,
パウンドケーキ

☆NPO 法人わかばの会
「わかば第一事業所」



ストラップ・カレンダーなど

☆調布市知的障害者援護施設
就労移行支援事業所「すまいる分室」



i-ファイルは、お持ちですか？

i-ファイルは、保護者の方と様々な関係機関が連携、協力してお子さんを支援できるように、お子さんの成育歴やこれまでに受けてきた支援のまとめ等をファイルしておくものです。新たに関係する機関などが増えた時に、必要なページを見てお子さんのことを説明したり、提示することでお子さんに一貫した継続的な支援が提供されることを目的としています。

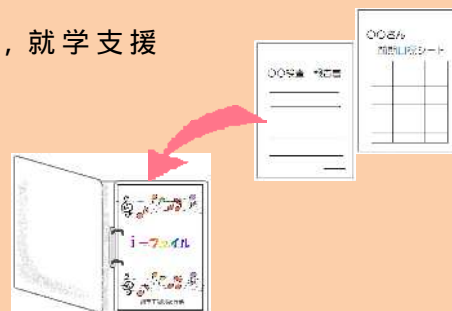


☆使い方☆

あらかじめファイルにとじてあるシートに必要な事項を記入します。

センターが作成した目標シートや検査結果報告書、就学支援シート等をとじて保管して下さい。
また、医療機関や幼稚園・保育園、学校等からの書類もとじてご利用下さい。

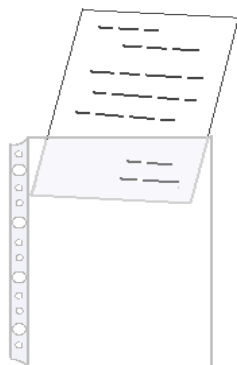
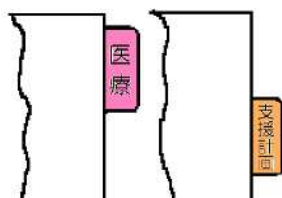
入園や入学、その他様々な機関を利用する際に、必要なページを提示したり、コピーを提出することで、保護者の方の心配やお子さんのことをわかってもらうための情報共有ができます。



お子さんの写真を貼ったり、その頃の記録としてスクラップアレンジしたページを作るとオリジナルな育児記録になります。

☆アレンジの例☆

ポケットファイルを使うと、母子手帳や穴を開けたくない書類などを入れることもできます。



写真



手型

見出しタブをつけると、必要な書類が見つかりやすくなります。

☆ダウンロードもできます☆

調布市のホームページ・子ども発達センターより用紙のダウンロードができます。
必要な用紙だけ選んで印刷ができます。

☆配付場所☆

発達センターの事務室で配付しています。声をかけてくださいね！
教育相談所（教育会館6階）
子ども政策課（市役所3階）
障害福祉課（市役所2階）
健康推進課（たづくり西館4階）
子ども家庭支援センターすこやかでも配付しています。



就学支援シートの紹介

お子さんの小学校の生活が、スムーズにスタートできるよう、あらかじめ伝えておきたいことや心配していることを、保護者の方と発達センターや幼稚園、保育園などの関係機関がシートに記入し、小学校へ伝えるものです。
入学前に伝えておくことで、学校の受け入れ体制や入学後の支援に活用されます。

～ 就学支援シートの作成・活用 ～

子ども発達センターや在籍の幼稚園・保育園からシートを受け取ります。
所定の箇所に保護者の方、子ども発達センターや在籍の幼稚園・保育園がそれぞれ記入します。
(記入する内容は保護者の方に確認していただきます。)

就学支援シートの写しを学校に提出します。
(原本はご家庭でi-ファイルなどにして保管してください。)
提出の際は事前に学校に連絡をしていただくとスムーズです。
必要に応じ、面談等で直接学校とお子さんの心配な点や配慮等について、話し合いをすすめることができます。

就学支援シートの提出は「任意」です。全員が提出するものではありません。
必要と思われる支援や配慮を小学校にお伝えください。

事業のご紹介

保育所等訪問支援事業

保育所や幼稚園等を現在ご利用のお子さんが、集団の中で、より過ごしやすくなるための専門的な支援を必要とする場合に、子ども発達センターの職員が在籍園を訪問し、相談、助言を行います。
児童福祉法に位置付けられた制度です。
障害者手帳、診断をお持ちのお子さんが対象です。前年度の所得に応じた保護者負担があります。

緊急一時養護・リフレッシュ支援事業

緊急時等一時養護事業では、ご家族のご病気や用事などのため養育が困難な時、また、ご家族の休息などの必要に応じてお子さんを一時的にお預かりします。
来所時に巡回バスの一部の便で停留所からお子さんをお預かりできます。
3年ごとに登録の更新が必要です。



どちらの事業についても、利用の流れやご不明な点など、まずは子ども発達センター（電話：486-1190）にお問い合わせください。



乳幼児期の生活リズムについて

感染症予防には「手洗い」が有効です。正しい手洗いの習慣が身につけられるといいですね。また、生活リズム、生活習慣が整うことも、感染に強いからだ作りに有効です。

乳幼児期の生活リズムは「食事」「睡眠」「遊び」の3つの柱から構成されています。バランス良い、十分な「食事」「睡眠」「遊び」が感染の予防にもなり、からだの成長、こころの成長、運動機能の成長につながります。

食事

朝食は体が活動するための準備を行います。朝食を食べることによって、寝ている間に低下した体温が上昇し、排便を促します。

そして、食事を大人と一緒にとることにより、食事の楽しさや、マナーも身につけることができます。



睡眠

早寝早起きの習慣をつけて、十分な睡眠をとることは、子どもの健やかな成長と生活のリズムを確立していくために大切です。朝の光を浴びることによって脳の生体リズムがリセットされ、からだを動かすホルモンが分泌されます。

また、夜の睡眠は、からだの成長を促したり、脳の働きを高めるホルモンを分泌させます。

早寝、早起きには大人の協力が必要です。9時頃には寝られるようになるといいですね。



遊び

遊びは健康な心身の発達を促します。

親子で一緒にからだを動かしたり、触れ合う遊びは、子どもの愛着形成が促され、大人も子どもの成長を感じることができます。

また、外でからだを動かすことは、体力の向上や免疫力のアップにつながります。



生活リズムを身につけることは大切ですが、一生懸命になりすぎて、無理をしてしまうのではなく、できることから少しずつ行っていくことが大切です。お子さんの成長を楽しみながら行っていきましょう。

編集後記

センターまつり当日は天気も良く、大勢の方が遊びに来てくれました。来年もまた行う予定ですので、お楽しみに！

今号もここまでお読みいただきありがとうございました。また来年もどうぞよろしくお願いいたします。

